



山中商事株式会社様に対する 『114 サステナブルベーシックローン』の実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は2025年9月5日（金）、三島支店取引先 山中商事株式会社（愛媛県四国中央市寒川町 代表取締役 山中 泰典）に対し『114 サステナブルベーシックローン（※1）』を実施しましたのでお知らせします。

今回、山中商事株式会社は、『平均給与額（基本給）の増加率』を SPTs（※2）に決めました。当行はお客様の企業戦略に即した SPTs の達成状況に応じて貸出金利を優遇することで、目標達成に向けた動機付けを行い、サステナブル経営を後押しします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客様の SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1）環境・社会課題の解決に資する取組みを、自社の実績を基準に目標値を設定し、達成状況に応じて貸出金利を優遇する当行独自のローン商品。第三者評価機関からのセカンドオピニオン取得が必要となる、サステナビリティ・リンク・ローンに比べ、多くの企業が取組みやすい設定としている。

（※2）Sustainability Performance Targets（環境や社会課題に対しポジティブな影響をもたらす企業目標）

記

1. 企業の概要

会 社 名 山中商事株式会社
所 在 地 愛媛県四国中央市寒川町 773
業 種 紙製品製造業

【サステナブルな取組み】

私たちは、愛媛県の瀬戸内海と法皇山脈にはさまれた四国中央市で、昭和 46 年から紙の製造業を営んできました。創業より和紙や洋紙、板紙、ファンシーペーパー、あるいは特殊な機能をもった紙といった、世の中に存在するありとあらゆる紙を取り扱ってきました。今後も、創業より培ってきた「紙の知識」をもって、持続可能な素材である紙の特性を活用することで、世の中の多様なニーズに応えてまいります。また、商品の品質向上、環境負荷の軽減、バリューチェーン上における不当な労働の排除、資源提供国の支援につながる資材確保等に取り組み、SDGs の目標達成に貢献してまいります。あわせて、環境・社会課題の解決を通じて「顧客満足度の向上」につながる製品開発を進めてまいります。

今回、「平均給与額（基本給）の増加率」を SPTs に設定することで、より従業員がいきいきと働けるウェルビーイングな職場環境の実現をめざしてまいります。



2. SPTs について

『平均給与額（基本給）の増加率』を SPTs として設定

以上